

「学習理論第1刷・正誤表」

p10 上4, 5行目の式

右辺 誤: $\mu \rightarrow$ 正: μh , 誤: $\lambda \rightarrow$ 正: λh

p22 下10行目

誤 前ページの脚注 → 正 脚注

p22 上3行目

誤: produce → product

誤: $\langle \cdot \rangle \rightarrow \langle \cdot, \cdot \rangle$

p22 上8行目

誤: $n=1$ として → 正: x を一次元として

p22 下10行目: 「前ページの」を削除する

p36 式2.25 の前の行:

誤 「...を式(2.14)に代入し...」 → 正 「...を式(2.14)から $1/m$ を取り去り, その後2倍したものへ代入し...」

p45 上3行

誤 1章 → 正 6章

p52 下から6, 7行目式を次の式に変え

$$s'(\mathbb{E}\{\partial \log f(X; \theta)/\partial \theta_i \partial \log f(X; \theta)/\partial \theta_j\})s = 0$$

続いて下から4行目の文

誤 「となり, …ことがわかる」 → 正 「となり, フィッシャー情報行列による2次形式が, 非零のベクトル s に対し 0 となるので, 正則ではないことが分かる」

p65 一行目の式 の後に

$$(\alpha_i > 0)$$

を入れる。

P74 上から3行目: 「の部分集合」 → 「のある部分集合」

P76 下から5行目式 中で次の訂正 $q_{ij} \equiv P(X_t \rightarrow q_{ij} \equiv P(X_{t+1}$

p94 下2行

誤 カーネル → 正 関数

p95 定理4.2の証明: 冒頭「まず, …, すなわち。」を削除。

証明の3行目：「Gが正定値であるならば」→「Gが正定値である必要十分条件として」

証明の下から3行の文章「反対に…である」を削除する

p96 上から9行目の式中「 \equiv 」→「=」

p108 上6行（第2段落）

誤 式(4.8) → 正 式(4.6)

誤 主表現による → 主表現で $b = 0$ とした

p108 上8行（第2段落）

誤 「マージンは正規化された」 → 正 「マージンは標準化された」

p109 上10行目の式中 左辺 誤： $L(w, b, \alpha)$ → 正： $L(w, \alpha)$

p110 上6行

誤 (4.8) → 正 (4.6)

p115 4.13節 上3行

誤 式(4.22) → 正 式(4.6)

p116 上10行目

誤： $\min \langle w, w \rangle + C \sum (\eta^2 + \eta^2) \rightarrow$
正： $\min 1/2 \langle w, w \rangle + 1/2 C \sum (\eta^2 + \eta^2)$

p116 上14行目 誤：識別関数 → 正：関数

p117 9行目

誤： $\min \langle w, w \rangle + C \sum (\eta + \eta) \rightarrow$
正： $\min 1/2 \langle w, w \rangle + 1/2 C \sum (\eta + \eta)$

p119 上10行目 誤：4.6節 → 正：4.7節

p122 上7行目 誤「この操作で最初のGが変化しなければ…保証される。」→
正「この操作で最初のGが変化するため、テストの度にGを作り直す必要がある。」

p123 下6行目 誤：すべての → 正：すべての

p124 式(4.29)右辺 $\alpha_\ell \rightarrow \alpha_\ell^{ij}$

p137 上1行目「従って、」を削除

上2行目 誤「0になる確率は」→正「0になる確率 T_i' は」

p141 式(5.18) 中 $T \rightarrow t$

p142 式(5.19)中 $T \rightarrow t$

p145 式 (5. 2 1) 右辺第2項目として+const を挿入

p147 上3行目 (5.24)式左辺 誤: $P(y|x) \rightarrow$ 正: $P(s|x)$

下3行目 式(5.26)中 誤: $(1-r_i^{-1}(x)) \rightarrow (1-r_i^1(x))$

下6行目 式中 誤: $P(s|x) \rightarrow$ 正: $P(k|x)$

p148 上2行目

誤 式(5.26)の・・・が \rightarrow 正 式(5.26)の・・・が, 近似的に

p150 上10行目 左辺 $P_\theta(\xi_\ell | \eta_\ell) \rightarrow P_\theta(\eta_\ell | \xi_\ell)$

右辺2項目中 $P_\theta(\xi_\ell | \eta_\ell) \rightarrow P_\theta(\eta_\ell | \xi_\ell)$

p 1 5 6 下3行式 (5. 5 2) 右辺 ln 内 $P_\theta(s,x) \rightarrow P_\theta(s|x)$

同式 二つ目の=右辺 Σ の $k = 1 \rightarrow k = 0$

同じく $q_i^k(x) \rightarrow r_i^k(x)$

p 159 11行

誤 事後分布最大化学習 \rightarrow 正 事後確率最大化学習
(索引も訂正)

p169 上6行目 式中 誤: $y \rightarrow$ 正: ボールドの(太字の) y

p 178 5.11.3 項のすぐ上, RVMアルゴリズムの下へ以下を挿入

「アルゴリズムの実行で $\alpha_i \rightarrow \infty$ となるパラメタは0となる。残りの重みが SVMのサポートベクトルに対応するレリバンスベクトルとなる。」

p179 下4行目の式中 左辺 $p(w|y,y,\alpha) \rightarrow p(w|\xi,y,\alpha)$

右辺 $\xi \rightarrow y$

p181 上2行目式(5.105)

$\Sigma \Phi' S \Phi u \rightarrow \Sigma \Phi' S u$

p210 最下行の式中 一つ目の等号右辺分母 \exp 内の平均値 E_s の前に

$$\frac{\partial}{\partial q_j}$$

をいれる。

$$p_{211} \text{ 上2行目式 } 1 - \sum q_i^{k'} \rightarrow \ln(1 - \sum q_i^{k'})$$